

# 共生

奈良県生協連

2009年10月

NO.74

## 万葉のいぶきを求めて—(39)



秋風にゆれる すすき

君待つと <sup>あ</sup>我が恋ひ居れば <sup>お</sup>我が屋戸の <sup>わ や ど</sup>簾動かし <sup>すだれ</sup>秋の風吹く  
<sup>ぬか</sup>額 <sup>たの</sup>田 <sup>おほきみ</sup>王

前回にふれた十市皇女の母、額田王の歌です。額田王は生没年は不明ですが、斉明朝から天智朝にかけて宮廷を中心に活躍し、確かな技巧を持った歌人として有名で、万葉集に12首の歌を残しています。出自ははっきりしませんが、今日の大和郡山市額田部の出身かともいわれ、宮廷に出仕し、恵まれた美貌と歌才によって早くから注目を集めたようです。前にも触れたように大海人皇子（天武天皇）との間に十市皇女をもうけますが、その後中大兄皇子（天智天皇）の後宮に召されることとなります。

「あの方を、ひたすら待っている時、簾を動かして入って来たのは秋の風だったわ」と言っています。この歌には、「<sup>あふみの</sup>近江天皇を思ひて」と題がついていることから見て、君と呼ばれたのは近江天皇つまり天智天皇です。この時すでに二人の間には秋風が忍び寄っていたのでしょうか。その後、娘十市皇女の死を看取り持統朝まで生を全うしたようです。



# 賀川豊彦を知っていますか？ その足跡をたどる

## 賀川豊彦献身(活動)100年記念事業

日本の協同組合の父、賀川豊彦が社会活動を開始して2009年で100年目になります。これを記念して東京と神戸でプロジェクトが立ち上がりさまざまな記念事業が企画されています。奈良県では11月15日(日)なら100年会館中ホールにて記念シンポジウムが開催されます。



## 賀川の足跡

- 1888年 神戸市に生まれる
- 1893年 両親の死去にともない徳島の本家に
- 1904年 キリスト教受洗
- 1909年 神戸市スラムにおいて伝道活動開始
- 1914年 渡米(第一次世界大戦)
- 1917年 帰国、夜間学校を開講
- 1919年 友愛会関西労働同盟会結成に参加
- 1920年 普選運動始める。大阪購買組合共益社設立  
『死線を越えて』出版、ベストセラーに
- 1921年 神戸購買組合設立、灘購買組合設立  
川崎・三菱造船所大争議、検挙される  
奈良菊水楼にて「イエス友の会」を結成  
杉山元次郎と日本農民組合結成
- 1923年 関東大震災ボランティア活動
- 1924年 本所産業キリスト教青年会(YMCA)設立  
東京松沢村に転居
- 1926年 大阪YMCAで労働農民党結成
- 1927年 農民福音学校開講
- 1928年 中之郷質庫信用組合設立  
全国非戦同盟を結成
- 1932年 新渡戸稲造と東京医療利用組合設立  
馬見労務保育園開園
- 1940年 反戦運動で検挙
- 1945年 敗戦後、内閣参与となり厚生省顧問(社会保険制度)
- 1947年 ノーベル文学賞候補
- 1948年

## 賀川豊彦

[1888年生、1909年救貧活動開始、1960年没]

『社会運動の種まき人』『協同組合の父』『平和主義者』

大正・昭和の戦争と日本の近代化の時代に、牧師・社会運動家として救貧活動から防貧活動に転じ、貧しき者、弱き者の権利の獲得と自立のための制度づくりを進めた人。『死線を越えて』という小説のベストセラー作家で、伝道活動や社会運動のために種まき人として各地を駆け巡り、全国にその足跡を残した人。共生のための友愛経済を謳い、協同組合社会を提唱し、国際平和を求めて行動しつづけた人。国際的にも活躍し、海外で最も知られた日本人としてノーベル文学賞や平和賞にもノミネートされた人。

そんな著名人が現在では一部の組織で知られるだけになっています。賀川が社会活動を開始して100年、その足跡をたどり現在に生かそうというプロジェクトが動いています。

賀川が取り組んだことは大変広範囲に及びます(次ページ)。しかしその礎となる思想は「人権・平和・共生」であり、自主・自立・愛と協同を経済的視点も踏まえて実践し、そのための教育を大切にしました。

賀川は協同組合の中心思想を謳っていますが、それは次の7つの言葉「利益共楽、人格経済、資本協同、非搾取、権力分散、超政党、教育中心」に集約されています。

## もくじ

- 賀川豊彦を知っていますか?..... 1,2
- 温暖化防止 COP15・奈良林業企画..... 3,4
- 大学生協におじゃましました..... 5,6

- 広がる協同・くらしの輪..... 7
- つながる連帯・友好の輪..... 8,9
- 賀川豊彦献身100年記念企画..... 10

1951年 日本生活協同組合連合会結成会長就任  
 1954  
 1955年 ノーベル平和賞候補  
 1956  
 1955年 世界連邦世界運動副会長就任  
 1960年 召天

また、賀川は社会保険を提唱し、戦後政府は社会保障制度を作っています。ヨーロッパの制度に精通していたこと、貧民街での救貧活動があったからこそ、仕事や健康を失った時の支える社会的な仕組みの導入を強く訴えたのでしょう。また貧困を作り出す最大の原因が戦争であるとの思いから世界連邦づ

くりを呼び掛け、社会的格差の是正と協同の必要性を訴えています。ヨーロッパでEUがこの理念で生まれたということも賀川の先進性と視野の広さに驚かされます。

常に社会の弱者に向けられた関心と国際平和への希求を、座して論じるのではなく、問題の本質を見抜き即座に行動するエネルギーは社会運動の種まき人として現在に通じ、時代を超えた思想家といえるのではないのでしょうか。

## 賀川が取り組んだこと

### キリスト教

伝道活動 百万人救霊運動—海外伝道

### 社会福祉

幼児教育 子どもの権利(1924年)、保育園・幼稚園設立—馬見労務保育園(広陵町)  
 救済活動 食事提供—栄養食配給所—国民栄養協会・協同配食

庶民金融—中之郷質庫信用金庫—中之郷信用組合  
 授産所、職業紹介—神戸市公共職業安定事業  
 医療活動 診療事業—(結核予防協会、日本救ライ協会)

### 社会活動

労働運動 労働組合—大日本労働総同盟、友愛会議

農民運動 農民福音学校—農民時計学校—リズム時計  
 農民組合、立体農業—高崎ハム、雪印乳業

社会運動 普選活動—無産政党運動—(日本社会党)

社会教育 生活改善運動、禁酒・廃娯運動—文化生活研究会、日本禁酒同盟  
 労働学校、農民福音学校

災害救済 関東大震災への日本最初のボランティア、東北飢饉救済、関西風水害救済

### 協同組合運動

農業産業組合 農村消費組合協会—全国農業協同組合連合会  
 消費組合 購買組合—コープこうべ、日本生活協同組合連合会  
 学生消費組合—大学生協—全国大学生生活協同組合連合会  
 医療利用組合—中野組合病院—東京医療生活協同組合

### 共済制度

国民健康保険や失業保険など社会保険制度

農協共済事業—共済農協—全国共済農業協同組合連合会

労働者共済—(労働金庫、労福協協会)—全国労働者共済生協連合会

共栄火災—共栄火災海上保険株式会社

### 平和運動

反戦運動—全国非戦同盟(1928年)—世界連邦アジア会議(1951年)—国際平和協会

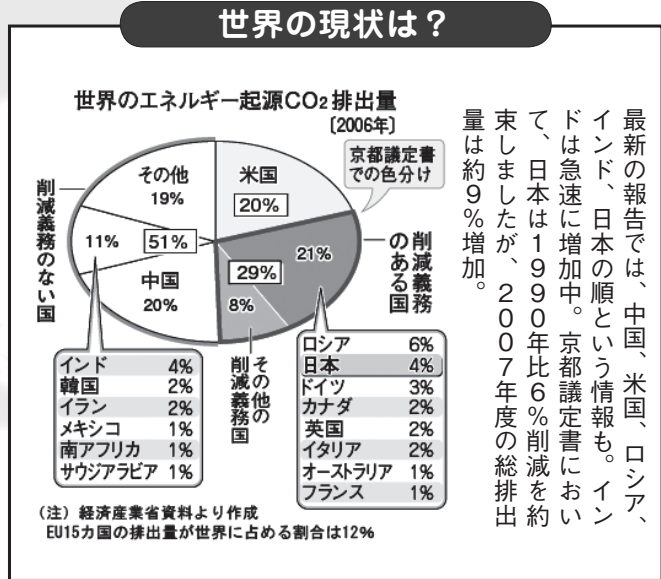


# 今年12月 コペンハーゲンで何が？

## ■「COP」とは？

「条約締約国会議」のこと。条約ごとにあり、各国政府代表団が集まり、話し合う場です。ここでは、特に「国連気候変動枠組条約 第15回締約国会議」のこと。今年12月にデンマークのコペンハーゲンで開かれる「COP15」は2013年以降の国際的な枠組みが決まるとしても大切な会議です。\*京都議定書では、2012年までの枠組みしか決められていません。中国、インドなどの参加も不可欠です。

※京都議定書：1997年京都で開かれたCOP3で採択された世界の約束事



## ■何を決めるの？なぜCOP15が重要なのか？

地球温暖化の兆候や被害が世界の各地で現れ始め、世界の科学者たちが「気温上昇を工業化以前（1850年頃）から2℃未満に抑えないと地球規模の回復不可能な環境破壊により人類の健全な生存が脅かされる可能性がある」と警告を発しています。

世界の国々が地球温暖化の解決に向けて対策を進めていくために、2013年以降の大幅な削減目標に合意することが重要です。まさにこの会議で今後の地球温暖化対策を決めるのです。

## ■世界の動きは？

世界の科学者の最新の知見にもとづき気候変動枠組条約、京都議定書を軸として交渉は前進していますが、多くの課題が山積しています。世界をリードしようという国も現れ、京都議定書を離脱している米国でもオバマ大統領が温暖化対策に積極的な姿勢を示しています。イギリスでも「気候変動法」が制定（2008年）されました。

直近では日本の鳩山首相も国連で「90年比25%削減」を表明しました。

### 国際交渉の焦点

気温上昇を何℃以内におさめられるか

- いつまでに
- 誰が
- どれくらい
- どのように

減らせるか・・・

先進各国が‘野心的’な目標をいかにだすか  
途上国の努力も必要

## ■忘れてはならないこと（共通だが差異ある責任）

地球温暖化は、日本などの先進国がいままでCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを排出し続けたことによりります。

今まで排出していない大多数の途上国がその影響を最も強く受けています。

南太平洋のツバルのような小さい島国は0.01%しか排出していないのに海面上昇の影響を受け始め、国の消滅の危機にさらされています。対策を打つのが遅くなればなるほど、被害も損失も膨大になるといわれています。

経済活動と密接に結びつくCO<sub>2</sub>排出量削減は各国の利害と思惑から交渉は難航しています。

## シンポジウム「奈良の宝 山、森 ～温暖化の視点から～」を開催

9月5日（土）に奈良県文化会館において、「温暖化防止COP15ネットワーク関西・奈良県実行委員会」主催のシンポジウムを開催。93名の市民、林業関係者、行政、建築家などが参加しました。

### ■あいさつ

奈良県森林組合連合会  
代表理事会長 山本陽一氏

### ■基調講演

「環境財としての森林～その営みから生まれるもの～」  
只木良也・名古屋大学名誉教授（森林生態学）

### ■リレートーク

- ①室生寺の社寺林保全の取り組み（室生寺 堀本正彦氏）
- ②十津川村の林業再生の取り組み（十津川村長 更谷慈禧（さらたによしき）氏）
- ③奈良県の森林の現状と今後（奈良県農林部林政課 上田一仁氏）

### ■報告

「国際交渉の現状とコペンハーゲンに向けた論点」の報告  
温暖化防止COP15ネットワーク関西 早川光俊氏

### ■あいさつ

奈良県温暖化防止活動推進センター 遊津隆義氏

### 参加者アンケートから

「森という大切な財産を生かしたいと痛感しました」「環境のための森林に今の林業を変えていくことが必要であるという主張に林業の可能性を感じた」などの感想が寄せられ、市民と林業関係者の共有の場の一歩となりました。

\*温暖化防止COP15ネットワーク関西・奈良県実行委員会＝サークルおてんとさん、ならコープ、コープ自然派奈良、(特活)奈良ストップ温暖化の会(奈良県温暖化防止活動推進センター)、奈良県生協連で構成

## COP15に行ってきます

COP15での各国の合意が成立するよう、市民の立場から行動する「温暖化防止COP15ネットワーク関西」が今年3月に設立しました。奈良県生協連をはじめ、近畿圏の環境NGOや他の府県生協連、生協など様々な団体が加入しています。

COP15に向け、約40名の代表団を送り、市民の立場から国際交渉の成り行きを見守ります。11月14日（土）13:00～16:00梅田ビジネスセンターで壮行会、年明けには報告会を予定しています。

- COP  
会場での活動**
- ・国際会議の傍聴
  - ・サイドイベントへの参加
  - ・ブースなどの見学・交流
  - ・独自のパフォーマンス
  - ・パレードなどNGOのイベントへの参加
  - ・政府との意見交換
  - ・会議の状況の配信など



只木良也・名古屋大学名誉教授  
森が二酸化炭素削減に果たす重要性や植林が森林保全に果たす役割を解説し「木材は環境財で、森林を活かす日本の文化と木材の有用性を見直すべきだ」と強調されました。



会場から出された質問に答える  
講演者・報告者のみなさん



COP15 代表団奈良県参加者  
(左から) 中島光さん(奈良県立大)、津田八重子さん(ならコープ)、清水順子(サークルおてんとさん)

～奈良県立大学生協の巻～

# 「みんなを見るのが好き、人と関わることが好き」

## 学生委員会の合宿におじゃましてきました

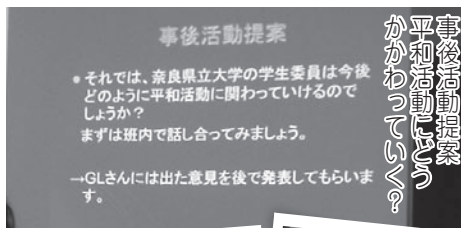
長崎に行ってきた“りーぬ”さんの平和報告の真っ最中。学生委員20名のみなさん、真剣そのもの。県立大学の学生委員はどのように平和活動についてかかわっていいのかを班で話し合いそして発表。「平和は不安定なものと思った」「加害者としての真実も知ることが必要」「これから積極的に活動していけたらいい」などの感想が出され、その後エコキャップでのワクチンの途上国支援や、折り鶴で平和観を色分けでするなどさまざまな平和活動のアイデアが出されました。最後に後期の活動で何がしたいかをそれぞれ班を代表して報告。“すべらない”!? クリスマスパーティ、奈良の生活のメール相談、運動会、平和を考える映画会、「生協の白石さん」のような新意見箱、共済給付ボードの充実などなど。

最後に感想交流を行い、委員長の中村さんから「1回生のやりたいことを支えていく基盤を作っていきたい。共済について学ぶ機会をつくるから共済の良さを伝えるために一緒に頑張りたい」とまとめの挨拶。外はもう暗くなっていましたが、みなさん解散が名残惜しそう。

朝からお疲れ様でした。私たちも学ぶことが多かったです。



りーぬさんの平和の報告  
みなさん、真剣そのもの



事後活動提案  
平和活動について  
かかわっていきよう



共済セミナーの給付ボード。びっしり

## 委員長の中村さんと副委員長 の細尾さんにインタビュー



委員長の  
中村麻利さん

副委員長の  
細尾佐和子さん

**Q.** どうして委員になったのですか？

**A.** 新歓の冊子の年間活動を見て「いいなあ」と思った。先輩の雰囲気がとてもよかった。それで部会を見学して入った。居心地がいいの。

**Q.** 生協の委員をしてどうですか？

**A.** 人前で意見をいう練習になるし、人の意見を聞けるようになった。個性が強い人が多いけどそれぞれの人を生かせるようにしていきたい。みんなを見るのが好き、関わることが好き。★県立大生616人(1,2回生326名)中、学生委員20名(1,2回生)大変高い比率。学内での生協への期待や感謝は大きいです。

## 健康フードライフ週間(6/15～18)

### ～今日から始める未来ファンデーション～

この企画は、副委員長の細尾さんのアイデア。今まで、食生活相談は教室で1日4時間限りのものでしたが、今回から月曜から木曜までの4日間を食堂で。

一人暮らしの学生が多く食生活が乱れがち。自宅生も同様。「継続した健康を考えてほしい！3食食べる大切さをわかってほしい！30年後も健康でいるために今を見つめてほしい！」と企画。

- 1日目▶体組成、お肌チェック、アルコールパッチテスト
- 2日目▶スモーカーライザーと紫外線について
- 3日目▶血圧、牛乳、エクササイズ、
- 4日目▶体組成、お肌チェック、食事、アルコールパッチテスト

栄養士さんの健康相談。参加者は運動不足と栄養バランスの悪さを自覚。学生委員が作ったPOPを見て小鉢を取ってくれたようになったそうです。今後「月間化」にしていきたいそうです。



ブースは食堂ホールの1回

**朝食をしっかり食べましょう！**  
を提案。



県立大生のごはんの写真を用意してどれが健康的かを考えてもらうコーナーも。





## ～奈良女子大学生協の巻～

# 「つながりを大切に！気持ちはお姉さん、お母さん」

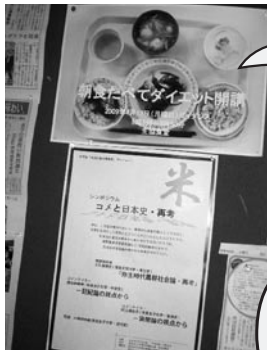
### 夏季休暇中の9月4日に行ってきました



緑の多いキャンパスの中、生協の店や食堂のある校舎におじゃましました。開放的ですので大きなテラスが外にもありました。食堂は、夏季休暇中でも学生や先生方の食生活を支えています。300席しかないため「13:00からメニュー」など「時差昼食」を呼び掛ける工夫も。



入口に入ると、壁には所狭しとサークルのお誘い。その中で、「朝食たべてダイエット開講」のポスターが目につきました。



「朝食たべてダイエット開講！」

朝食を食べ講義を受けて単位を取得できる。生協は朝食作りで支援しています。毎週月曜日朝8:05から開始。朝早いのでなかなか起きられない学生も早起きになるとか。食材は地産地消にこだわり奈良県産の野菜を前日に調達。だしなど作り方にもこだわっています。

治道のトマトや地元ならやまの農家からナスやキュウリも届きます

\* 治道トマト：有機肥料減農薬。木で熟した完熟トマト。生協産直。



「故郷うまいもん」を年2回企画

ゴールデンウィークに帰省した時に、「お母さんの郷土の料理を聞いてきて！」と学生に。その料理を作って6月10日に開催。その時の写真が食堂内に掲示してありました。どれもおいしそう～でなつかしい。次回は秋に！楽しみです。

### ○ 店長の屋根二九美さんにインタビュー ○

生協歴30年。学生さんには食べるものに興味を持ってもらいたいのです。スタッフ14名みんなが学生にとって、お姉さん、お母さん。働いている人の顔を見せ、学生も悩みの相談にくるほど。奈良女と故郷のお母さんと学生のつながりを大切にしています。学級通信のようなたより「NaNaNa(奈良女生協店だより)」は毎週月曜日1700枚発行し早朝校門前配布と寮のポストとお店で配布。「NaNaNa」は保護者向けにも編集して年2回『ふるさと通信』を郵送。吉野杉の間伐材を使った割りばしの利用を呼びかける環境教育も。現地にも足を運んだというほどです。ドイツ語の先生の「ドイツ料理を楽しむ会」では共催し郷土料理やドイツ文化の紹介のお手伝いもしています。「奈良女に生協があってよかった！」と言われたいですね、と屋根さん。生協の原点ですね。

もっともっと伝えたいことはあるのですが・・・是非一度奈良女の生協に行ってみては？



総菜1g = 1.2円  
野菜中心で目にも楽しめます



店長の屋根さん。弁当200食、食堂800食をつくって、食生活を支えます。まさに奈良女のお母さん！！



300円の弁当  
野菜豊富で栄養満点。とてもお得。



学生のアイデアから生まれた「ベジサンド」。京都のパン屋さんで手焼き、食堂にて調理しています。

# 広がる協同・くらしの輪

## □消費者行政活性化計画調査報告書をもとに県や首長との懇談がスタートしました

「奈良の消費者行政を考える会」による市町村消費者行政の活性化推進の取り組みは、調査報告をもとに、奈良県消費・生活安全課との懇談（7月27日）や御所市市長との懇談（8月4日）が行われました。日本消費経済新聞に調査報告の内容が掲載されました。



## □全国消費者団体連絡会消費者団体交流会

8月21日消費者庁設立準備室から「消費者庁と消費者委員会の機能と役割」「消費者庁設立に伴う農林水産省・経済産業省の消費者行政の変更」等について報告を受けました。活動報告は5団体あり、奈良の消費者行政を考える会の『立ち上げと地方行政調査の内容、ネットワーク作り』を仲宗根専務が報告、問題提起を行いました。



## □核兵器廃絶の想いをあらたにしました

“2009ピースアクション in なら”が8月1日に奈良県文化会館で開催され、悪天候にもかかわらず昨年を越える150名の親子が参加しました。日本原水爆被害者団体協議会事務局次長岩佐幹三氏の講演「ふたたび被爆者をつくらないために」と4名のパネラーの世代を超えた平和への想いをお聞きして、「改めて戦争の恐ろしさと、世界で唯一の被爆者となった苦しさやこわさを未来に受け継いでいくことが大切」との想いを強くしました。また、子ども広場では、アニメ「つるにのって（とも子の冒険）」の上映やユニセフの話しを聞き、親子で話し合うきっかけになりました。



### アンケートから

（こども広場）アニメ・ユニセフの話を聞き、分かりやすく参加して本当によかったです。帰って子どもたちと家族会議をします。（30代）

先生の被爆体験を聞いて、改めて戦争の恐ろしさを思い知らされました。戦争を知らない世代で戦争の脅威を感じずに生活しています。世界で唯一の被爆者となった苦しみを我々が未来に受け継いでいくことが大切だと思いました。（40代）

原爆で亡くなったお母さんのことを「自分が殺した」と思っているという話を聞いて、戦争・原爆は絶対許せない！被爆国である日本がもっと世界に発信していかなければならないと思いました。NPT会議への派遣は必要だし、応援します。（50代）



# つながる連帯・友好の輪

## □第17回奈良県「協同組合デーのつどい」が開催されました

7月17日「春日野荘」(奈良市)においてJA、森林組合、生協による奈良県協同組合連絡協議会が開催されました。その後協議会による第17回奈良県「協同組合デーのつどい」が開催され、県下協同組合関係者約100名が参加しました。今年度は「食と健康」をテーマに、トータルヘルスアドバイザー阪口由美子さんから心身両面の健康促進・管理についてご講演を頂きました。表現力豊かなお話は、大変楽しく、わかりやすくその日から実行してみたい健康法について学びました。「つどい」終了後、JAならけんのご協力のもと県内産品を使ったメニューによる懇親会を開催し協同組合間の交流を深めました。



## □第21回近畿地区生協・行政合同会議が開催されました

9月2日近畿地区生協・行政合同会議(兵庫県)では、厚労省地域福祉課中島氏の「地域福祉の推進について」報告の後、暮らしの安全・安心に向けた取り組み事例報告がありました。「兵庫県における消費者行政の総合的推進」(東元消費生活課長)、「COP15に向けた行政・生協・NPOのコラボレーション」(奈良県生協連清水)、新型インフルエンザの対応と\*BCP(コープこうべ藪田常勤理事)、「消費者団体訴訟制度の成果と適格消費者団体の役割」(KC's 榎理事長)。次年度は平城遷都1300年祭でもあり奈良県で開催されます。



※BCP：災害時等緊急事態における事業継続計画

## □食料・農業問題検討委員会 地連別討論会が開催されました

関西地連「食料・農業問題検討委員会」地連別討論会(8月27日)日生協の「国の新たな『食料・農業・農村基本計画』への意見書案(骨子)」についての説明と7名の生協代表者・有識者による意見開示、会場からの意見交換等が行われました。9月中に検討会でまとめ政府に提出予定。今後、シンポジウム(10月21日)、第2回地連別討論会(2010年1月21日)が開催されます。



## □関西地連「食品安全推進会議」が開催されました

8府県連8生協27名が参加しました。2008年1月の中国冷凍餃子事件の発生時に兵庫県としてどのような危機管理対応をされたのか、また「生活消費局」を「健康福祉部」の中に新設し、消費者行政と食品安全行政の一体化を図ることをめざしている取り組みの報告がありました。



□ならコープ35周年記念学習会～賀川豊彦の『愛と協同』を基調とした協同組合の原点  
ならコープでは、35周年の今年、生協の父と言われる賀川豊彦献身100年を記念して、学



習会が開催されました。コープこうべ顧問・賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト委員会事務局顧問の西義人氏による「賀川豊彦の『愛と協同』を基調とした協同組合の原点」をテーマにした講演と理事と職員の3人による「協同組合の存在意義とそこから生まれる仕事の価値について」をテーマにリレートークが行われ、「生協の原点とはなにか」を一緒に考える場となりました。

□NPT（核不拡散条約）再検討会議に組合員の願いが届けられます

NPTとは1970年に発行した「核兵器の不拡散に関する条約」で、2007年5月現在の締約国は190カ国となっています。条約の主な内容は、核不拡散、核軍縮、原子力の平和的利用ですが、5年ごとに再検討会議が開催され、加盟国が条約の運用状況・核軍縮がすすんでいるかをチェックします。

今年に入って、朝鮮民主主義人民共和国の地下核実験の実施など核兵器廃絶の願いに逆行する動きもありますが、4月のオバマ大統領発言、7月の米ロ首脳会談の核軍縮合意など、核兵器廃絶に向けた気運が高まっています。また、先ごろ開かれた国連安全保障理事会首脳会合で「核兵器のない世界」実現をめざすことを謳った決議が全会一致で採択されました。



日本生協連では、2010年5月にニューヨークで開催されるNPT再検討会議に生協代表団の派遣を呼びかけています。ならコープでは、2005年に続き、代表派遣を行います。組合員代表は、堀江陽子さんが組合員の願いを届けます。

県連理事会報告

9月17日 猿沢荘

主な審議事項

- (1) 2009年度下期活動方針について
- (2) 賀川豊彦献身100年記念講演会(生協大会)の取り組みについて
- (3) その他事項
  - ① 第2回行政協議会について
  - ② 奈良の消費者行政を考える会発足1周年記念講演会について
  - ③ 近畿地区大規模災害図上訓練について
  - ④ COP15コペンハーゲン会議への派遣の取り組みについて
  - ⑤ 近畿厚生局の「指導検査からの生協への改善要望点」について

\*理事会終了後、2009年度会員生協理事長交流会が開催されました。

奈良の元気な森林づくりシンポジウム

～森林の恵みを未来に引きつぐために～

日時 11月14日(土) 13時～16時

場所 奈良市ならまちセンター

定員 300名(定員になり次第締め切り)

概要 奈良県森林環境税を使った取り組み状況や効果を報告し、森林の恵みや森林を守る大切さについて県民の皆さまと一緒に考えます。(基調講演: 森林ジャーナリスト 田中淳夫氏)

☆参加費無料、アンケート回答者に

せんとかん木製マグネットをプレゼント!

申 ハガキかFAX、メールで参加者数、氏名、電話番号を記入して下記へ。※当日参加も受け付けます。

問 奈良県農林部林政課

TEL: 0742-27-7471 FAX: 0742-24-5004

e-mail: rinsei@office.pref.nara.lg.jp

URL: [http://www.pref.nara.jp/dd\\_aspx\\_menuid-1672.htm](http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1672.htm)

\*奈良県生協連も後援しています。

# 県内で賀川と縁のある団体が一堂に会し

賀川豊彦記念奈良企画実行委員会が開催されました

9月17日、猿沢荘において賀川豊彦記念奈良企画実行委員会が開催されました。県内で賀川と縁のある団体が一堂に会し、実行委員長に逸見県連名誉会長を選出しました。神戸プロジェクト顧問西義人氏から「愛と協同…賀川豊彦の人と業績」の講演をいただき、企画内容、運営内容を確認し、参加目標を400人とするなど成功に向けて話し合われました。

## 当日の参加者

奈良県協同組合連絡協議会から奈良県農業協同組合中央会 安川佳延専務理事、奈良県農業協同組合 澤田昌巳常務理事、全国共済農業協同組合連合会奈良県本部 川元孝信副本部長、奈良県森林組合連合会 山本陽一会長理事、奈良YMCA 藤井辰男総主事、共栄火災海上保険関西支店奈良支社 三森啓資支社長、社会福祉法人協同福祉会 村城正理事長(代理南裕子氏)、事務局団体として奈良県生活協同組合連合会 逸見啓名誉会長、瀧川潔会長、三輪敏通副会長(奈良県労働者共済生協専務理事) 森宏之理事(ならコープ理事長) 辻由子理事(ならコープ副理事長) 前田陽一理事(コープ自然派奈良専務理事) 青木秀俊(ならコープ組織広報・CSR部長) 仲宗根迪子専務理事 新田和夫事務局長 清水順子事務局

(馬見労務保育園 斉藤浩敏園長は公務によりご欠席)



賀川豊彦献身(活動)100年記念奈良企画

## 賀川豊彦を知っていますか? ～新たな共生社会をめざして～

日時: 11月15日(日) 14:00～16:30 (開場13:30)

場所: なら100年会館 中ホール (JR奈良駅西側すぐ)

講演: 「賀川豊彦が社会に残したもの～友愛経済の視点から～」

野尻武敏氏 (神戸大学名誉教授 生活協同組合コープこうべ協同学苑長)

リレートーク: 「賀川から学んだこと～共生社会をめざして」

宮原直希氏 (馬見労務保育園前園長)

藤井辰男氏 (奈良YMCA総主事)

堀内金義氏 (農業、ならコープ共栄会会長、元JAならけん経営管理委員)

主催: 賀川豊彦記念奈良企画実行委員会

賀川豊彦は100年前貧しい人々とともに生活し貧困や社会悪と闘いました。真の人間性に立つ友愛社会精神と世界平和の建設のために福祉活動、労働運動、協同組合運動など多くの運動の先駆者です。さまざまな社会の矛盾を抱えるこの時代に、賀川の志を学び、次の時代につなげる機会とします。

申込み・お問合せ先 奈良県生活協同組合連合会 TEL:0742-34-3535 FAX:0742-34-0043  
Eメール: kenren@naracoop.or.jp



# 県連日誌

## 7月

- 1日 なら安全安心住まい・まちづくり協議会イベント実行委員会
- 9日 近畿地区府県連協議会
- 10日 関西地連府県連協議会
- 14日 消費者行政を考える会世話人会
- 16日 第2回県連理事会
- 17日 協同組合デーのつどい
- 24日 ピースアクションすすめる会
- 27日 考える会調査まとめに関する県との懇談・県政記者クラブ発表
- 31日 労済生協総代会

## 8月

- 1日 ピースアクション in なら
- 4日 「考える会」御所市長訪問
- 6日 日中消費者法シンポジウム(京都産業大)
- 17日 こむらいふ奈良
- 20日 関西地連インフルエンザ対策交流会
- 21日 全国消費者団体連絡会・消費者団体交流会(内閣府共催)
- 25日 医療生協設立をすすめる懇談会
- 26日 消費者行政を考える会世話人会
- 27日 食料農業問題検討委員会地連別討論会

## 9月

- 2日 近畿地区生協・行政合同会議
- 5日 温暖化防止COP15関西ネットワーク奈良林業企画
- 11日 ピースアクションすすめる会
- 17日 賀川豊彦記念奈良企画実行委員会
- 17日 第3回県連理事会
- 17日 県連理事長交流会
- 29日 遺伝子組替え農作物に関する消費者団体との意見交換会(近畿農政局)

# お知らせ

## いのちの山河 ～日本の青い空Ⅱ～

豪雪・貧困多病多死の三重苦の沢内村で48年前、老人・乳幼児医療の無料化を実現、そして全国初、乳幼児死亡率ゼロの金字塔!!

11月11日(水)、20日(金) ならまちセンター

11月21日(土) まほろばホール(河合町)



“赤ちゃんをひとりも死なせない…!!”

山間の小さな村が、「自分たちの命を守った村」になるまでのドラマー憲法25条(生存権)を高く掲げた深澤晟雄尊重のロマンを描く劇映画完成。上映開始。CAST:村長:長谷川初範、妻:とよた真帆、村長の父:加藤剛、教育長:大鶴義丹

申込み・お問合せ先 ▶ 奈良県映画センター 0742-23-1147

### お詫びと訂正

共生7月(N.73)号3ページの青田江美さんの写真が間違っておりました。また、表紙の文中「夫の死語」は「夫の死後」でした。誠に申し訳ございませんでした。

## 編集後記

賀川の行動力には驚かされる。様々な活動が常に平行して進められていてまさに現場主義。目の前の問題解決に果敢にチャレンジしていくその熱意とネットワークは是非に今の時代にも生かしたい。(迪)

「25%削減」を国連で鳩山首相が表明しました。そのためにはあらゆる政策を総動員する必要があります。企業も国民も自分たちの目の前の金銭的な負担ばかりの報道に目が行きがちですが、いま対策を打たなければどうなるのかは農業や漁業、林業をされている方が既に実感されています。10年、40年先の日本や世界の社会のあり方をもっと議論していく必要性を感じます。まだ見ぬ子どもたちのために。(順)

大学生協の活動の取材で改めて生協の「原点」を感じました。「大学生の満足度全国一」や「三百名の学生に二十名の学生委員」。すばらしい!(和)